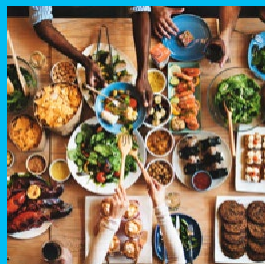
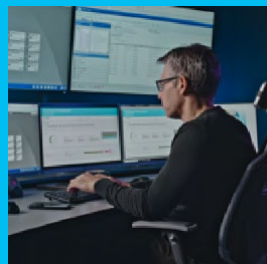
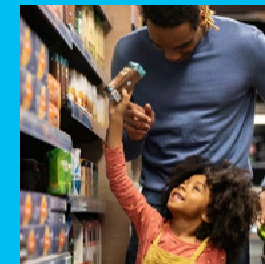


サステナビリティ レポート FY24



概要	テトラパックの重点分野				
	食品システム	循環型経済	気候	自然	社会的 持続可能性

CEOからのメッセージ

どこにいても誰もが安全な食品を手に入れなければなりません。それは、健康、教育、人生における機会、社会の繁栄の根幹です。しかし、増え続ける人口問題を前に、これは課題であり続けます。

2050年までに、世界の人口は100億人¹⁾に達し、食品に対する需要は60%²⁾増加すると予測されています。さらに、食料の安全保障は栄養と健康を支えるだけでなく、経済成長³⁾の基盤でもあります。長期的に安定して食料の安全が保障できなければ、持続可能な経済成長に必要な人材開発⁴⁾が妨げられ、公的資金の支出が増加します。これにより国家、地域および世界レベルの長期的な成長が鈍化するおそれがあります。食品システム⁵⁾は、現代の人々に食料を提供するために不可欠ですが、同時に温室効果ガス（GHG）排出量⁶⁾は、世界の総排出量の3分の1以上を占めます。食料生産性の向上に対する需要と、排出量の削減に対する要求との間の緊迫は、重大な課題を示しています。また、2023年には、約2億8,200万人の人々が、非常に深刻な食料不安⁷⁾に直面しました。

現在、世界の気温は、産業革命前の水準を1.5℃から2℃上回ると予想されているため⁸⁾、農業と食品製造に対する圧迫がさらに増大、食料不安の増長や飢餓が増加する可能性があります。

そのために、テトラパックは企業として、世界の食品システムの転換を推進し、人と環境を守ると同時に、どこでも安全な食品を手入手する方法とそれによるメリットを確実にしなければならなく考えています。持続可能性の課題では、5つの相互に関連する分野、食品システム（食品）、社会的持続可能性（人々）、および気候、自然、循環型経済（地球）に重点を置いています。これらの相互に関連する分野は、互いにサポートしあい、私たちのバリューチェーンと業界全体で転換を推進する総合的なアプローチを生み出します。2024年に、テトラパックは各分野でさらに前進しました。

食品

各国が温室効果ガス排出量を制限し、食料の安全保障を強化する取り組みは緊急性を増しています。そのために、食品システムの変革は最優先事項になっています。バクーで開催された気候変動枠組条約締約国会議（COP 29）で強調されたように、世界のリーダー、政策立案者、および持続可能性支持者は、見落とされがちな分野にますます重きを置いています。その分野とは、農業食品チェーンの「隠れた中間層」と呼ばれる農場と食卓との中間工程、つまり食品加工処理、包装、貯蔵、輸送、流通です。隠れた中間層は農業食品の排出量の約18%を占め、食品システム⁹⁾に付加される経済価値の40%を占めます。

持続可能な食品システムの確立と推進には、長期的な責任、将来を考慮した投資、継続的なイノベーション、関係者の皆様との連携が必要です。テトラパックは、1951年にスウェーデンで誕生して以来、世界中どこでも安全な食品が入手できるようにする長い旅を続けてきました。70年以上にわたり、テトラパックのテクノロジーとソリューションは、食品廃棄物の削減、傷みやすい食品の品質と安全性の保護と品質保持期限の延長に貢献し、食品が安全に入手できるようにしてきました。2024年は、テトラパックの各国の拠点で周年記念を迎えることができました。ベトナム（30周年）、米国（40周年）、アルゼンチン（45周年）、中国（45周年）、メキシコ（65周年）などがその主な拠点です。

去年は、世界29か所で、84,000戸の小規模酪農家を支援するデイリーハブも提供しました。このプロジェクトは、小規模酪農家が乳製品メーカーへの安定した生乳の提供により酪農家の収入を安定させ、地域の酪農業の持続的な成長を支援しました。また、テトラパックの学校給食プログラムを通じて、49か国の6,600万人の子どもたちに牛乳と栄養価の高い飲料を届けました。

さらに広く地球上のすべての人々に目を向けて、テトラパックは2024年に、食品加工処理ソリューションとともに合計1,780億個の紙容器を届けました。同時にチーズ、アイスクリーム、粉末製品などの消費者向けの数百万トンの食品を加工処理しました。企業としてテトラパックが世界に供給する食品および飲料部門の総合価値は大きく、2.6兆ユーロ以上¹⁰⁾という推計もあります。これは食品の製造と流通が、経済成長を促しそれに伴う利益の推進で果たす役割の重要性を示しています。

人々

テトラパックは、安全な食品を提供することで、世界中の人々の暮らしの改善、経済成長への貢献、職場やバリューチェーンとテトラパックが事業展開する地域社会での人権尊重に取り組んでいます。

テトラパックが押し進めるバリューチェーンアプローチは、サプライヤーとの連携が重要です。「Join us in protecting the planet（地球を守る活動への参加）」イニシアチブでは、サプライチェーンに携わる人々の生活を支援するために、150社の優先順位の高いサプライヤーのグループと協働しています。2024年には、29社のサプライヤーが科学的知見に整合した目標（SBT）イニシアチブで立証された気候目標に同意しました。また、テトラパックは、自然の保護とそれに伴う人権デューデリジェンスで最優先で取り組む必要がある対策の構築でも、サプライヤーを支援しています。

テトラパックは職場の安全を改善し、報告される事故の発生を10%低減することができました。テトラパックがあらゆる地域で実施した内部調査によると、従業員の92%が「私のチームの従業員は健康や安全性を脅かす危険から保護されている」という、テトラパックの表明を好意的に受けとめています。私たちはこのことを誇りに思います。この調査で、従業員の84%が「ありのままの自分」の姿で仕事に打ち込むことができると報告しています。これは従業員の多様性、公平性、インクルージョンに対するテトラパックの取り組み推進する上で重要な指標になります。

概要	テトラパックの重点分野				
	食品システム	循環型経済	気候	自然	社会的 持続可能性

CEOからのメッセージ 続き

テトラパックはこれらの報告から、職場全体の障害者インクルージョンの改善に特化したプロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは、障害を持つ従業員も平等に成長と成功を手にするチャンスがある、よりインクルーシブな環境を作ることを目的としています。また、総合的な従業員充足度調査の結果は87%¹¹を達成できたことを誇りに思います。

テトラパックでは、私たちの活動によって、私たちが生活し、働く地域社会に良い影響を与えることができると考えています。その1つが、2024年12月4日の国際ボランティアデーに発足したボランティア活動です。これは2025年1月1日からスタートした取り組みで、すべての従業員が年1日、有給のボランティア休暇を取得し、各国のテトラパックが主催するボランティア活動に参加できます。ボランティア活動は、食品（フードバンク、飢餓救済活動または食品ロス削減活動など）、人々（自然災害で被災した人々のサポート、コミュニティー構築プログラム、または子どもの成長と教育など）、地球（清掃活動、リサイクル活動や植林など）を守るという私たちの目的を支援するように企画されています。

さらに、テトラパックのバリューチェーンの下流では、ブラジル、コロンビア、エジプト、インド、ベトナムといった地域の非公式な廃棄物収集者の生活を改善する具体的な支援をしています。医療サービスや社会福祉支援の受給の促進、保護用具の提供、地域の図書館や放課後の読書教室の開催など、明日の生活の改善に的を絞ったソリューションを展開しています。

地球

食品・飲料産業からの温室効果ガス排出は、世界の全排出量の3分の1以上を占めています¹²。そのため、気候変動の緩和における食品産業の役割は最も重要で、テトラパックは引き続きバリューチェーンの脱炭素化に取り組んでいます。2019年をベースラインとして、2024年には自社の事業¹³から排出される温室効果ガスを54%、バリューチェーン全体で25%¹⁴削減しました。テトラパックの現場で使用される再生可能な電力の割合は、2024年に94%に達しました。私たちは、2030年までに自社の事業における温室効果ガス排出量のネットゼロ達成に向けて着実に進んでいます。

下流では、気候変動の軽減と同時にお客様の事業の効率化と競争力の向上に取り組んでいます。2024年に、テトラパックが遠心分離機に導入したAirTight技術とEncapt技術は、お客様のエネルギー消費量を40%削減しました。これは、テトラパックの高度な装置やサービスが様々に貢献できることを示すバロメータになります。お客様は世界中の製造拠点で食品ロスを削減しながら、食品製造でのエネルギー、水、排出量を削減できます。このレポートではさらに、食品製造工場のエネルギー消費量の40%削減、品質の一貫性の60%改善、食品廃棄物の低減に、テトラパックの高度な製造ソリューションがどのように貢献しているか説明しています。先進技術を活用した食品製造の総合的なアプローチは、生産性の向上の新たな扉を開ける鍵となり、食品メーカーのみならず地球にとっても計り知れないメリットとなります。こうした進展は、サプライヤー、お客様、および他の関係各所の皆様と協力して、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量のネットゼロ（2019年ベースライン）を達成するというテトラパックの決意の表れでもあります。

2024年のもう1つのハイライトは、自然へのアプローチの枠組みの構築でした。具体的な活動と20以上の測定可能な目標に基づく枠組みは、自然破壊の阻止と修復、生態系の復元、水の安全保障の強化へのテトラパックの貢献を定義します。

ブラジル南部で展開するAraucaria Conservation Programmehは、2024年に新たな局面に入りました。2023年に再生された土地の実に5倍以上が、2024年に再生されました。在来生物の多様性の促進と気候変動に取り組むプロジェクト¹⁵全体の目的他に、環境保全の政府補助金を活用し、地域の農家と一緒に景観の修復も行っています。こうした活動を通して、テトラパックは持続可能な開発モデルを構築しました。このモデルは生活を守ることと経済成長が両立できるように組み立てられています。

また、テトラパックは、バリューチェーン全体での循環型経済の原則を2024年の年間を通して継続して適用し、充填装置、食品加工処理装置を含む事業全体の水と資源の使用量の削減に取り組みました。テトラパックは、設計から生産終了までの総合的なアプローチにより、循環型経済の推進に貢献しています。具体的な活動として、再生可能な食品用紙容器の設計、リサイクル材と再生可能資源の使用の拡大、原料を無駄なく循環させる回収とリサイクルのインフラの整備が挙げられます。

テトラパックは、食品の安全性を損なうことなく、紙容器の環境優位性をさらに強化するために、紙容器の研究開発に毎年約1億ユーロを投資しています。この投資によって、Elle & Vireの協力を得て開発された再生ポリマーのキャップや、紙由来のバリアーを使用するテトラ・ブリックアセプティック容器 200 スリムリーフなどのイノベーションを生み出しています。さらにテトラパックは、2024年に4,200万ユーロを追加で投資し、使用済みの紙容器の回収とリサイクルのインフラの拡張を全世界で展開しています。2024年には、地球規模で130万トン以上の使用済みの紙容器が回収され、リサイクルへ送られました。これにより、リサイクルの回収率は28%に上昇しました。これはテトラパックの循環型経済実現の取り組みが一歩前進したことを示しています。テトラパックは、この取り組みにおいて世界中のリサイクル事業者215社と協働しました。

お客様、サプライヤー、関係各所の皆様との協働、そして私たちのチームの熱意と献身のみが私たちを前進させ、私たちは社会が直面する課題解決に向けたソリューションの開発に邁進することができます。問題に取り組むテトラパックの姿勢が変わらないのは、そうした数限りない支援があるからです。テトラパックは、皆様と一緒に目的の達成に向けて歩みを止めません。そして、「テトラパックは、食品を安全にどこでも入手可能にすることを約束します。そして大切なものを包んでいます - 食品、人々、地球を守ります。」の約束を守る重要な役割を果たします。



Adolfo Orive
テトラパック社
社長兼CEO

2024年の ハイライト



食品システム

6,600万

学校給食プログラムを通じて、牛乳と栄養価の高い飲料が届けられた**49か国**の**子どもたち**の数

1,780億個

世界中に届けられた食品および飲料向け紙容器

約84,000

2011年以降、デイリーハブプロジェクトに参加した**小規模酪農家**の数

42%

常温牛乳加工処理ラインの**温室効果ガス排出量の削減率**(2019年ベースライン)
(2030年までに50%削減目標に向けて進行中)

10万ユーロ

タンパク質混合での発泡と流失による製品ロス的大幅な削減により**テトラパック® プロテインミキサー**が達成した年間**10万ユーロ**の節約



循環型経済

EUで販売する紙容器の承認済み再生ポリマー含有率**42%**の増加(**2024年**、**2023年**¹との対比) - マスバランス方式²による計算

1億ユーロ

持続可能な紙容器の研究開発へのテトラパックの**投資額**

最大130万トン

回収され、リサイクルへ送られた**使用済み紙容器**。世界のリサイクル・回収率³の**28%**相当

4,200万ユーロ

紙容器の世界的規模の回収、分別、リサイクルへのテトラパックの**投資額**

215社
リサイクル事業者

世界規模の連携

Circle Green® ステンレス鋼のホモゲナイザーでの使用開始。通常のステンレス鋼より93%も低いカーボンフットプリント(業界平均⁴との比較)



気候

-25%

2019年以降の**バリューチェーン温室効果ガス総排出量の減少率**(スコープ1、2、3)

-54%

2019年以降の**自社事業**からの温室効果ガス排出量の減少率(スコープ1、2、出張)

94%

テトラパックの事業における**再生可能電力の消費量**(2030年の目標に向け進行中)

Aリスト

CDP⁵の**気候変動プログラムAリスト**

110億個

植物由来素材仕様の紙容器。および**123億個の植物由来キャップ**を提供。化石資源由来ポリマー⁶を使用した場合のCO₂の量と比較して、**47キロトンのCO₂の削減**



自然

テトラパックの**サプライチェーン**全体に対する**自然への影響の高水準の評価**の実施。将来の契約に向けたサプライヤーの最も影響力の強いカテゴリの優先順位付け

1,564ヘクタール

2022年以降**復元中の土地の面積**。2024年に追加された**1,292ヘクタール**を含む

A- スコア

森林と水の分野における**CDP評価**

17%

2019年をベースラインとして、工場・事業所からの**総取水量**の減少率。水の目標スコープの**17%減少**

52%

2019年をベースラインとして、容器包装ソリューションにおける無溶媒のプリプレスプロジェクト推進による、**揮発性有機化合物(VOC)の放散の削減率**



社会的持続可能性

10%削減

報告される**事故発生率合計**(TRAR)で達成された削減率。2023年の1.82から2024年は1.63

84%

「ありのままの自分」の姿で仕事に打ち込むことができると報告した**従業員の割合**

87%

従業員充足度調査の結果

従業員の意識調査、影響の評価、第三者による面接により、**バリューチェーン全体の従業員のエンゲージメント**の強化および拡大

優先順位の高いサプライチェーンのカテゴリ全体で**人権のための行動計画**の作成と実施

ベトナム、ブラジル、インド、コロンビア、エジプトの**非公式な廃棄物収集業者の生活の改善**で前進

会社概要

数字で見るテトラパック

2025年1月1日現在



128億2,000万
ユーロ

2024年の純売上高



24,546

従業員数



160以上

2024年にテトラパックが
販売を展開した国

1,780億

2024年に販売された
テトラパック® 紙容器

89

営業所

27

マーケット
カンパニー

8

テクニカル
トレーニングセンター

6

研究開発センター

8

カスタマー
イノベーション
センター

51

製造工場

2024年に納入した製品



227

充填機



2,712

食品加工処理
ユニット

705

外包装機

稼動中



8,592

充填機



113,227

食品加工処理ユニット



22,347

外包装機

テトラパックについて

テトラパックは、食品製造および容器包装ソリューションで世界をリードする企業です。技術と革新の先頭に立つ先進的なメーカーとして、テトラパックは、食品の安全保障の強化、手ごろな価格による食品の入手可能性、生活と経済の向上に根ざした、食品製造および容器包装の最新のシステムを提供します。お客様およびサプライヤーとの協力、また世界中の24,000人の従業員の献身的な活動に後押しされ、テトラパックは160以上の国々の何十億もの人々のために食料を持続して守ります。

テトラパックは70年以上前に、いつでもどこでも食品を安全に入手できる取り組みを始めました。現在、私たちは、食品、人々、地球を守るために刷新を続けています。テトラパックのイノベーター、専門家、協力者の専任チームが現在、最新の科学技術を使用して、世界全体の食品および飲料業界が直面する最大の課題を解決するために、絶え間なく協力しています。

テトラパックは、シデル、デラバルとともにテトララバル・グループの一員です。グループの全員が、効率の良い食品の製造、包装、流通の技術に積極的に取り組んでいます。詳しくは、テトララバルの年次報告書とウェブサイトをご覧ください。

テトラパックの持続可能性へのアプローチ

テトラパックの持続可能性へのアプローチは、私たちのパーパス「**テトラパックは、食品を安全にどこでも入手可能にすることを約束します。そして大切なものを包んでいます - 食品、人々、地球を守ります。**」に表現されています。食品から始まり、ビジネス上の意思決定の根幹を成し、従業員を団結させ、テトラパックのイノベーションを促進する原動力であり続けます。

企業としての責任を果たし、関係各所の皆様の期待に応えるために、テトラパックは持続可能性への取り組みを構築します。取り組みの基盤となるのは、ビジネス活動における重大な影響、リスクおよび機会、バリューチェーン全体にわたる関係の特定、それらの優先順位を決めることです。人と環境に及ぼす重大な影響は、影響を受ける関係者の皆様との関わりと理解に基づき、環境と人権のデューデリジェンスから導き出されます。

テトラパックは行動計画の作成に当たって、人と地球にとって良い結果となるように、マイナスの影響を排除・軽減し、計画が十分に効果を発揮していることを追跡できる基準と目標も設定します。

私たちの持続可能性の課題には、重要性に基づいた5つの重要な分野、**食品システム**、**社会的持続可能性**、**気候**、**自然**、**循環型経済**があります。テトラパックでは、これらの分野が相互に関連し依存していることを認識しています。1つの分野での行動が、他の分野に影響を及ぼすことがないように、バランスを考慮して慎重に進めます。



たとえば、天然資源を圧迫せずに食料生産を拡大し、気候変動を緩和しながら生態系を保護・修復しなければなりません。

さらに、気候変動および必要なネットゼロ経済への移行が、バリューチェーン全体の人々へのリスクを悪化させないとも限りません。たとえば、異常気象により生活手段が失われる、産業の変化により雇用が失われる可能性があります。移行の影響を受ける労働者には、先の見通しと生活が改善できる安全な仕事が必要です。このレポートでは全体を通して、相互に関連する5つの分野について詳しく説明しています。



食品システム

重要な理由

食品システムは、持続可能性の課題の心臓部と言えます。食品の調達、栽培、加工処理および包装の方法の転換は、あらゆる段階でカーボンフットプリントを削減しながら、増大する世界人口に食料を提供し、健康、教育、機会および経済成長に貢献するために不可欠です。

テトラパックの目標

関係各所の皆様との協力による、食品の安全の改善と食品ロスと廃棄の削減。同時に生活の向上と食品入手可能性の強化

重要なトピック

食品の入手可能性
食品製造
食品ロスと廃棄
消費者の健康と安全

SDG



2024年の 食品システムの転換と 地球規模の影響

2050年までに、世界の人口は100億人¹に達し、食品に対する需要は60%²増加すると予測されています。

気候変動による異常気象現象や世界規模の公衆衛生上の緊急事態などの世界的に見通せない現状を考えると、将来のニーズを満たすのであれば、世界の食品システムは複雑な課題に直面します。

食料の安全保障は栄養と健康を支えるだけではなく、経済成長³の基盤でもあります。安定した長期的な食料の安全保障が失われれば、持続可能な経済成長に必要な人材開発⁴が制限され、政府の支出を押し上げます。それによって、国家、地域および世界レベルの長期的な成長が妨げられます。

食品システム⁵は、現代世界に食品を提供するために不可欠ですが、世界の温室効果ガス排出量⁶の3分の1を占めていることにも責任があります。食料生産増強の要求と排出量削減の要求との間の緊張は、重大な課題を示しています。

また、2023年には、約2億8,200万人の人々が、非常に深刻な食料不安に直面しました。⁷

現在、世界の気温は、産業革命前の水準⁸を1.5°Cから2°C上回ると予想されています。これにより、農業と食品製造への圧迫がさらに増大し、食料不安の増長や飢餓が増加する可能性があります。

2050年までに世界人口が
100億人に達するという予測¹



2050年までに
60%
増加する食品需要²

循環型経済

重要な理由

世界人口は2050年までに約100億人に増加し、資源の使用は2倍以上になると予測されています。¹
2015年以降、世界経済が消費した新しい資源は、地球が安全に補完できる量を70%上回っています。²

食品加工処理および容器包装セクターは、「資源採取、生産・使用、廃棄」というモデルから脱却し³、循環型経済を目指すことができます。循環アプローチは、装置の耐用年数の延長、紙容器に使用する資源の最少化、リサイクルされた再生可能資源の使用の促進を後押しすることができます。こうした多くの対応によって、限りある資源への圧迫を軽減し、使用済みの紙容器すべてを確実にリサイクルすることができます。

テトラパックの目標

次に示す3つのビジネスすべてにおける循環型ソリューションの推進による、循環型の食品システムへの更なる貢献。

- 循環型の原材料の使用の増加、紙容器のリサイクル可能性の向上および回収とリサイクルの拡大を通じて、テトラパックの食品・飲料用の紙容器の循環性を改善
- エネルギー、資材、水を効率よく処理する装置の設計によるお客様への支援
- 装置の耐用年数の延長、長寿命製品の設計および装置の維持に役立つサービスの提供

重要なトピック

紙容器のデザインと原材料

紙容器の回収とリサイクル

装置の設計、素材および耐用年数

テトラパックの事業における廃棄物



SDG



持続可能性の背景と地球規模の影響

人間による物質の消費は、持続が危ぶまれる速さで増大しています。世界銀行は、年間の世界の廃棄物⁴が、2020年と比較し2050年⁵には73%になると予測しています。2018年から2023年の間に、人間は500ギガトンを超える物質を消費しました。これは、1900年以降人間が消費したすべての物質の28%に相当します。⁶

循環型経済の考え方を受け入れて、持続可能な経済を推進する新しいモデルに向かって、過去の「資源採取、生産・使用、廃棄」というモデルから脱却することが急がれます。循環型の戦略は、廃棄物を出さない設計、省資源化、リサイクル材や再生可能資源の増加、再使用、修理、改修またはできる限り長く無駄なく物や資源を使い続けるためのリサイクルによって、資源の消費を低減することができます。

リサイクル可能なデザインと効果的なリサイクルは、循環型経済の重要な要素です。実際のリサイクル率から浮き彫りになるのは、非公式な廃棄物回収モデルによる課題です。公式な回収とリサイクルのインフラと支援策が整備された国では高いリサイクル率を示しますが、廃棄物管理のインフラと支援策が十分に整備されていない国ではリサイクル率は低くなります。これらに対応するには、多様なマーケティング戦略とリサイクルバリューチェーン全体にわたる高いレベルの連携が必要です。

ここ数年、世界の国々では、紙容器と紙容器の廃棄物に関する多くの規則を導入しています。循環型経済戦略の一環として、紙容器と廃棄物もますます規制されています。たとえば、2025年2月に発行されたEU包装・包装廃棄物規制（PPWR）は、EUでの包装廃棄物の削減を目的とし、すべての紙容器がリサイクル可能であること、場合によっては2030年の時点で再使用可能であることを保証するように定めています。規制は、紙容器業界全体に、紙容器の廃棄物の量を削減する革新的なソリューションの開発を推進する機会を提供します。

また、事業者の間で、循環型経済は自然再生および排出量のネットゼロへの取り組みと相互に関連することが広く認識されています。原材料の循環を維持する循環型の実践は、サプライチェーンでの材料不足のリスクを懸念する企業にとってメリットがあります。⁷ 循環型のバリューチェーンでは、新しい市場の開拓、イノベーションの活性化、雇用の創生によって、社会と経済の成長と発展が促進される可能性があります。⁸

2050年までの世界の廃棄物は、2020年の予測より73%も上昇⁵



気候

重要な理由

世界の食品システムは、世界の温室効果ガス排出量¹の3分の1以上を占め、気候危機に取り組む上で重要な課題となっています。自然と人に及ぼす広範囲な悪影響、関連する損失と損害を回避するために、気温上昇を産業革命前の水準から1.5°C以内に抑える必要がありますが、そのためにはすべてのセクターで、迅速かつ持続的な温室効果ガスの大幅な削減が求められます。

テトラパックの目標

テトラパックの事業、製品およびバリューチェーンの脱炭素化²による気候変動緩和への対応

重要なトピック

気候変動、軽減と適応

エネルギー源とエネルギー強度

SDG



持続可能性の背景と地球規模の影響

EUのコペルニクス地球観測プログラムによると、2024年は観測史上最も気温が高い年で、地表気温が、産業革命前のレベル³を1.5°C上回った最初の年でした。1.5°Cは、UN FCCCパリ協定の署名⁴各国が今世紀末まで維持することを約束したレベルでした。それだけにこれは衝撃的な瞬間でした。

このパリ協定の目標を達成するために、すべてのセクターで迅速で持続的な温室効果ガスの削減が求められます⁵。この求めに応じるには、従うべき緩和・適応策が必要ですが、気候変動の影響を人類の手で回復できるような対策でなければなりません。Net Zero Trackerの2024年の実績評価では、国、地域、都市および企業が公開したネットゼロの計画の数が2024年に増加したことが公表されましたが、すべてのプロセスと完全性の基準を満たしたのは、5%にも至りませんでした⁶。

現在の温暖化のレベルが、すでに人と地球に深刻な影響を及ぼしています。そのために、早急に計画を実行に移すことが重要です。World Weather Attribution (WWA)とClimate Centralは、気候変動により悪化した異常気象現象が原因で、2024年には3,700人が死亡したと見積っています⁷。異常気象は、2024年にわたって食料品価格の高騰の一因となりました⁸。2024年にはココア163%、コーヒー102%、ヒマワリ油55%と価格上昇し、継続する異常気象が原因で、価格は不安定な状態が続くことが予想されています。

世界の食品システムは、人口増加による食料の増産が求められている中で、こうした気候崩壊への対応にも迫られています。



自然

重要な理由

世界の食品システムとテトラパックのバリューチェーンは、自然環境が提供する恵みに依存しています。現在、自然の恵みは自然破壊の危機により脅かされ、人間社会に強い影響を及ぼす可能性があります。^{1、2、3}

テトラパックの目標

バリューチェーンが自然に及ぼす影響の軽減と景観の修復を目標とした、テトラパックの事業、サプライヤー、お客様との協働による、自然破壊の阻止と修復および世界的な水不足の解消への取り組み

重要なトピック

生物多様性と生態系

水の管理

大気汚染と水質汚染

SDG



持続可能性の背景と地球規模の影響

自然環境は、生態系サービスによりもたらされる私たちの生活、世界経済と食品システムを根底から支えています。しかし、生態系サービスの18項目のうち、14項目が危険の状況にあります⁴。人間の活動が、生物多様性、生態系、水資源に影響を与え続け、自然危機を深刻化させています⁵。

世界の食品システムは、自然が提供する恵みに依存していますが危機に瀕しています。それだけでなく、世界の食品システムは、自然破壊と世界的な水不測を招く原因でもあります。農業は、取水の72%に対して責任があり⁷、生物多様性の損失の主な原因です⁸。その上、食料生産により水質が汚染されています⁹。テトラパックは、食品システムで中心的役割を担う先進的なメーカーとして、自然環境に対するこれらの影響を軽減する対応策を講じ、他の関係各所の皆様と協働、連携する責任があると考えています。

昆明・モントリオール生物多様性枠組(GBF)は、2030年までに自然破壊を阻止し、復元の軌道に乗せるために2023年に採択されました。この世界的な合意に則り、自然を守るための政策と規制は増加しました。世界中の企業や政府が、生物多様性の損失と水不足に関連するリスクに非常に強い危機感を持っています。¹⁰ 自然に関連した影響、リスクおよび機会に関連する要件は、自然のための科学に基づく目標設定(SBTN)や自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)などの自発的なイニシアチブとともに、規制による枠組みで管理されています。¹¹

これらは、組織が自然に関連する影響、相互依存性、リスク、機械についての評価、目標の設定、報告をする際の方法を定めた、世界的に認識された枠組みです。

近年の規制の展開には、欧州森林破壊防止規則(EUDR)が含まれます。この規則は2023年に発効され、2025年12月31日までに適合することが定められています。EUDRでは、森林破壊の主要な原因である7つの商品生産物、大豆、牛肉、ヤシ油、木材、ココア、コーヒー、ゴムは、法に従って生産され、森林破壊のない地域から調達された場合のみ、EUで販売することができます。

生態系サービス項目⁶

1. 生息地の創出と維持
2. 花粉媒体と主旨や繁殖体の散布
3. 大気質の調整
4. 気候の調整
5. 海洋酸性化の調整
6. 淡水の量、位置とタイミングの調整
7. 淡水および海水の水質の調整
8. 土壌と堆積物の形成、保護と浄化
9. 災害と極端現象の調整
10. 有害生物と生物学的プロセスの調整
11. エネルギー
12. 食料と飼料
13. 物質と支援
14. 薬用、生物化学、遺伝資源
15. 学習とインスピレーション
16. 身体的、心理的経験
17. アイデンティティの拠り所
18. 選択枝の維持



社会的持続可能性

重要な理由

グローバルバリューチェーンは人に依存し、人は収入、暮らし、ウェルビーイングのためにグローバルバリューチェーンに依存しています。事業とバリューチェーンを通して、企業は積極的に人権を尊重して、人々の暮らしを改善することができます。テトラパックでは、職場、サプライチェーン、地域社会に応じて、さまざまな形で取り組みを進めています。

テトラパックの目標

事業全体およびバリューチェーン全体で人権を尊重¹することで社会へのプラスの影響を創出²

重要なトピック

従業員の職場とウェルビーイング

従業員の健康と安全

従業員の多様性、公平性、インクルージョン

テトラパックのサプライチェーンの労働条件

テトラパックのサプライチェーンでの強制労働

非公式な廃棄物収集業者

先住民および地域社会

この重要なトピックに記載していませんが、食品の入手可能性は社会的持続可能性と人権に密接に関連しています。このトピックに関する詳細は、**食品システム**の章で確認できます。

SDG



持続可能性の背景と地球規模の影響

十分な食料へのアクセスは人間に与えられた正当な権利です。国連が表明しているように、他の権利を享受する上で最も重要な権利です¹。テトラパックは、高度な食品製造システムを提供し、毎年何百万トンもの食品加工処理をするメーカーを支援する企業として、世界中の食品バリューチェーンで、この基本的人権が尊重されていることを確認するという重要な役割を果たしています。2024年にテトラパックは、1,780億個を超える紙容器に充填された食品を、世界のほとんどすべての国の消費者に届けました。

これらを通して、テトラパックはグローバルバリューチェーンが人々に依存し、人々がグローバルバリューチェーンに依存していることも認識しています。また、さまざまな理由で人権は、地球のいたるところで蹂躪されていることも認識しています。気候変動、生物多様性、自然破壊の危機、および汚染により、世界中の人々の人権はますます脅かされています。環境への影響と人への影響も相互に依存し合っていますが、地球全体で同じように影響が及んでいるわけではなく、影響を受けやすいグループや地域社会に被害が偏っています。

2030年までに世界の総労働時間の最大3.8%が失われると予測されています。これは、世界の一部の地域において、日中の最も気温が高い時間帯の屋外作業が危険になることによる損失です。1億3,600万のフルタイム雇用喪失、および2兆4,000億ドルの経済的損失に相当します。さらに、国際経済フォーラム（WEF）の推定では、世界のGDPの半分以上が自然破壊²によって危機的な状態に陥っています。そのため、いずれの場所においても人々と地域社会の暮らし、健康および繁栄が深刻な影響を受ける可能性があります。

世界中の労働者の権利も引き続き圧迫されています。2024年労働権利指数の数字によると⁴、世界の80%の国が報酬に関する団体交渉の権利を拒否し、43%が言論の自由または集会の自由を拒否しました。強制労働および児童の就労は、依然として厳しい課題です。ILO（国際労働機関）によると、世界で2,700万人が強制労働に従事しています⁵。さらにILOとユニセフは1億6,000万人の子どもが児童労働に従事していると推定しています。⁶差別の防止と軽減、およびインクルーシブな職場の構築は、依然として社会的持続可能性の重要な側面です。

こうした状況を背景に、人権と環境デューデリジェンスに関する規制が世界中で拡大しています。



脚注

CEOからのメッセージ

1 世界経済フォーラム(2024)。再生と革新が、私たちの食品システムを守る鍵。
出典：<https://www.weforum.org/stories/2024/06/renovation-reinvention-food/>

2 世界経済フォーラム(2024)。再生と革新が、私たちの食品システムを守る鍵。
出典：<https://www.weforum.org/stories/2024/06/renovation-reinvention-food/>

3 IFPRI <https://www.ifpri.org/blog/food-security-brings-economic-growth-not-other-way-around/>

4 WEFによる人的資本の定義 - <https://www.weforum.org/publications/the-global-competitiveness-report-2020/in-full/section-2-human-capital/>

5 食品システムは、食料の生産と消費に関連するすべての要素と活動、およびそれらの効果(経済的成果、健康上の成果、環境的成果)を含みます。出典：<https://www.oecd.org/food-systems/>

6 FAO(2022) <https://openknowledge.fao.org/server/api/core/bitstreams/121cc613-3d0f-431c-b083-cc2031dd8826/content>

7 食料危機に関するグローバルレポート 2024 <https://www.wfp.org/publications/global-report-food-crises-grfc>

8 コペルニクス(2024)：2024年は、産業革命前比で1.5℃を超えた最初の年です。
<https://climate.copernicus.eu/copernicus-2024-first-year-exceed-15degc-above-pre-industrial-level>

9 <https://www.tetrapak.com/sustainability/acting-for-sustainability/moving-food-forward/global-events>

10 出典：GlobalData。パッケージ入りの水、乳製品、チーズ、植物由来製品、ジュース、ネクター、非炭酸清涼飲料、パッケージ化された飲料、ワイン、スピリッツ、アイスクリーム、ペットフードが含まれます。

11 テトラパック従業員エンゲージメント調査。Perceptyxは、従業員のエンゲージメントを、従業員が仕事と雇用主に対して持つコミットメント、熱意、関与のレベルと定義しています。

12 FAO(2022) <https://openknowledge.fao.org/server/api/core/bitstreams/121cc613-3d0f-431c-b083-cc2031dd8826/content>

13 スコープ1、2および2019年以降の出張

14 2019年以降、2023年から-7%減少

15 <https://www.tetrapak.com/sustainability/focus-areas/biodiversity-and-nature/land-restoration>

2024年のハイライト

1 これは、各紙容器のリサイクルされたポリエチレンの物理的な割合を反映していません。

2 マスバランスの定義

3 リサイクルのために回収される使用済みの飲料用紙容器の報告には、入手可能な場合、政府機関、登録された回収機関、全国的な企業団体、NGO など、広く知られた情報源の公開された公式のデータを使用しました。これらのデータは一貫したアプローチで定期的に報告されています。そのような公式なデータが使用できない市場の場合、リサイクルのために回収された使用済みの飲料用紙容器の量は、内部データに基づき推定されています。

4 世界の温室効果ガス平均排出量(2023)：ステンレス鋼1kgにつき7kgのCO₂排出量(CRU、世界ステンレス協会、Kobolde & Partners ABが提供したデータに基づくOutokumpuの計算)。Outokumpu社製Circle Green CO₂ 排出量：ステンレス鋼1kgにつき0.5キロに減少

5 CDPは、企業が気候、森林、水に与える影響を測定し管理する方法を報告するための国際的な開示システムです。各分野は、開示およびパフォーマンスの完全性に基づいて評価されます。出典：<https://www.cdp.net/en>

6 2024年に購入された56.9キロトンの植物由来プラスチックを考慮した、気候会計の内部演算(体積×排出係数)に基づく。除外された排出量の計算には、公表されているBraskem社によるLCA(ライフサイクルアセスメント)の植物由来のポリマーの第三者の排出係数を使用。出典：PE-Im-green-bio-based-LCA-Results-SUMMARY-ENG.pdf

食品システム

1 世界経済フォーラム(2024)。再生と革新が、私たちの食品システムを守る鍵。
出典：<https://www.weforum.org/stories/2024/06/renovation-reinvention-food/>

2 世界経済フォーラム(2024)。再生と革新が、私たちの食品システムを守る鍵。
出典：<https://www.weforum.org/stories/2024/06/renovation-reinvention-food/>

3 IFPRI <https://www.ifpri.org/blog/food-security-brings-economic-growth-not-other-way-around/>

4 WEFによる人的資本の定義 - <https://www.weforum.org/publications/the-global-competitiveness-report-2020/in-full/section-2-human-capital/>

5 食品システムは、食料の生産と消費に関連するすべての要素と活動、およびそれらの効果(経済的成果、健康上の成果、環境的成果)を含みます。出典：<https://www.oecd.org/food-systems/>

6 FAO(2022) <https://openknowledge.fao.org/server/api/core/bitstreams/121cc613-3d0f-431c-b083-cc2031dd8826/content>

7 食料危機に関するグローバルレポート 2024 <https://www.wfp.org/publications/global-report-food-crises-grfc>

8 コペルニクス(2024)：2024年は、産業革命前比で1.5℃を超えた最初の年です。<https://climate.copernicus.eu/copernicus-2024-first-year-exceed-15degc-above-pre-industrial-level>

循環型経済

1 OECD、「Global Material Resources Outlook to 2060: Economic Drivers and Environmental Consequences」2019

2 サーキュラリティ・ギャップ・レポートイニシアチブ、「Five Years of the Circularity Gap Report, 2022」。出典：<https://www.circularity-gap.world/2022>

3 エレン・マッカーサー財団、「The circular economy in detail」、2020。
出典：<https://www.ellenmacarthurfoundation.org/the-circular-economy-in-detail-deep-dive>

4 世界銀行は、世界の廃棄物を、人間の活動により発生する固形廃棄物の総量と定義しています。

5 世界銀行。(2025)。「What a Waste 2.0:2050年に向けた世界の廃棄物管理の現状と展望」世界銀行から取得
<https://www.worldbank.org/en/topic/urbandevelopment/brief/solid-waste-management>

6 サーキュラリティ・ギャップ・レポートイニシアチブ、「The Circularity Gap 2024」。出典：<https://www.circularity-gap.world/2024>

7 エレン・マッカーサー財団、「What is a circular economy?」。出典：<https://ellenmacarthurfoundation.org/topics/circular-economy-introduction/overview>

8 欧州連合循環経済行動計画、2020。出典：https://environment.ec.europa.eu/strategy_en

気候

1 Arthur, C.(2021)、「新しい研究によると、温室効果ガスの増加は、食品システムにもその1/3の責任があります」。出典：[Unido.org](https://www.unido.org)

2 テトラパックの脱炭素化への取り組みは、製品や運用から排出される温室効果ガス(GHG)の低減や撤廃を目指していますが、自然に配慮したソリューションや他のイニシアチブによる回収不能な残余排出量を相殺するカーボンオフセットも視野に入れています。

3 EU コペルニクスグローバル気候レポート 2024 - <https://www.copernicus.eu/en/news/news/copernicus-global-climate-report-2024-confirms-last-year-warmest-record-first-ever-above>

4 UNFCCC - パリ協定 - What is the Paris Agreement - <https://unfccc.int/process-and-meetings/the-paris-agreement>

5 World Resources Institute,「10 Big Findings from the 2023 IPCC Report on Climate Change」、2023。
出典：<https://www.wri.org/insights/2023-ipcc-ar6-synthesis-report-climate-change-findings>

6 Net Zero Tracker(2024) Net Zero Stocktake 2024:NewClimate Institute, Oxford Net Zero, Energy and Climate Intelligence Unit and Data-Driven EnviroLab.www.zerotracker.net/analysis/net-zero-stocktake-2024

18 テトラパックサステナビリティレポート FY24	概要	テトラパックの重点分野				
		食品システム	循環型経済	気候	自然	社会的 持続可能性

脚注 続き

- 7 When Risks Become Reality, Extreme Weather Events in 2024、World Weather Attribution and Climate Central、2024
<https://www.worldweatherattribution.org/when-risks-become-reality-extreme-weather-in-2024/>
- 8 インサイト – 食品価格は不安定な動きを続けることが予想される。Inverto – <https://www.inverto.com/en/insights/food-prices-expected-to-remain-volatile/>

自然

- 1 J. Bélanger & D. Pilling (eds)、[The State of the World’s Biodiversity for Food and Agriculture](#)、FAO、2019
- 2 E. S. Brondizio, J. Settele, S. Díaz, & H. T. Ngo (eds), Global Assessment Report on Biodiversity and Ecosystem Services, Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services (IPBES), 2019
- 3 J. A. Johnson, et al.The Economic Case for Nature: A Global Earth-Economy Model to Assess Development Policy Pathways, World Bank, 2021
- 4 IPBES。(2019)。Global Assessment Report of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity.In E. S. Brondizio, Settele, S. Díaz, & H. T. Ngo (Eds.)。IPBES 事務局.IPBES事務局、ボン、ドイツ。出典:<https://doi.org/10.5281/zenodo.3831673>
- 5 IPBES。(2019)。Global Assessment Report of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity. p. 1109 in E. S. Brondizio, J. Settele, S. Díaz, & H. T. Ngo (Eds.)。IPBES secretariat.IPBES事務局、ボン、ドイツ。出典:<https://doi.org/10.5281/zenodo.3831673>
- 6 IPBES。(2019)。Global Assessment Report of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity. p. 1109 in E. S. Brondizio, J. Settele, S. Díaz, & H. T. Ngo (Eds.)。IPBES secretariat.IPBES事務局、ボン、ドイツ。出典:<https://doi.org/10.5281/zenodo.3831673>
- 7 FAO、2021食料と農業のための世界土地・水資源白書 - 限界点にあるシステム統合報告書2021ローマ (2021)
- 8 Benton, T.G., et al. (2021)。Food system impacts on biodiversity loss: Three levers for food system transformation in support of nature.Chatham House.
- 9 FAO、2018More people, more food... worse water? – 農業による水質汚染: 国際評価
- 10 世界経済フォーラム。出典: <https://www.weforum.org/stories/2024/01/why-businesses-are-waking-up-to-the-threat-of-nature-related-risks/>
- 11 自然関連財務情報開示タスクフォース。出典: <https://tnfd.global/tnfd-marks-continued-global-momentum-and-new- capability-building-initiatives-one-year-after-release-of-disclosure-recommendations/>

社会的持続可能性

- 1 人権は、私たちが人間として存在するというだけの理由で私たちが所有する権利です。それは、国家によって与えられるものではありません。このような普遍的な権利は、国籍、性別、民族、肌の色、宗教、言語またはその他の状態にかかわらず、私たち全員に本来備わっています。人権は、最も基本的な生存権から、食料の権利、教育を受ける権利、働く権利、健康に関する権利、自由に対する権利に及びます。出典: <https://www.ohchr.org/en/what-are-human-rights>
- 2 プラスの社会的影響とは、テトラパックの従業員、サプライチェーンの作業者と地域社会、回収とリサイクルに従事する作業者、気候変動、労働、差別、危険な労働条件、および持続可能な収入の分野でバリューチェーンに属する人々のためにより良い結果を推進することを意味します。
- 3 <https://www.weforum.org/publications/nature-risk-rising-why-the-crisis-engulfing-nature-matters-for-business-and-the-economy/>
- 4 <https://www.ituc-csi.org/global-rights-index>
- 5 <https://www.ilo.org/topics-and-sectors/forced-labour-modern-slavery-and-trafficking-persons>
- 6 <https://www.unicef.org/press-releases/child-labour-rises-160-million-first-increase-two-decades>

テトラパック、「大切なものを包んでいます」、テトラパック® 間接UHTユニット、テトラサーム®アセプティックVTIS、テトラブリック®アセプティック容器、テトラ・レックス®、テトラ・ブリック®、テトラ・トップ®、C38™ およびツイストキャップ™ はテトラパックグループの商標です。

www.tetrapak.com/ja-jp/

 **Tetra Pak®**
大切なものを包んでいます